



東日本大震災津波から10年。  
岩手の復興の姿をお伝えし、  
これまでのご支援に感謝申し上げます。



震災直後(陸前高田市)



復興の姿(高田松原津波復興祈念公園)



岩手県知事  
達増 拓也

東日本大震災津波から10年が経過しました。この間、全国から岩手に心を寄せていただき、あらためて御礼申し上げます。

公益社団法人経済同友会の皆さまにおかれましては、多くのお見舞いや激励、ボランティア活動をはじめ、被災地支援「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」として、震災遺児・孤児を支援する「いわての学び希望基金」への寄附、沿岸地域の高校への実習機材の提供、大学を通じた復興プロジェクトへの支援など、岩手県の復旧・復興に対し、物心両面で多大なご支援をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

岩手県では、「いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造」を目指す姿として、国連で採択されたSDGsにも共通する「誰一人取り残さない」という理念の下、より良い復興(ビルド・バック・ベター)を進めてきました。

これまでの10年間で、災害廃棄物の処理、被災した県立病院や公立学校の復旧、復興まちづくりの面整備や災害公営住宅の整備は完了し、復興道路や海岸保全施設の整備、商業施設や水産加工施設の再開も進んでいます。壊滅的被害を受けた三陸鉄道は、沿岸部を縦断する三陸鉄道リアス線として生まれ変わりました。港湾整備は、ガントリークレーン\*の供用開始やコンテナ定期航路の開設による経済効果をもたらしています。

一方で、完成していない一部の社会資本の早期整備や、被災者のこころのケア、新たなコミュニティの形成支援、水産業における漁獲量の減少対策、商工業における販路の

回復や従業員の確保などの課題もあり、引き続き取り組んでまいります。

岩手県は、3月11日を「東日本大震災津波を語り継ぐ日」とする条例を2021年2月に制定しました。日本を代表する震災津波学習拠点「東日本大震災津波伝承館」を中心に、震災の事実と教訓の伝承、復興の姿の発信に永続的に取り組み、震災の風化を防ぎ、国内外の防災力強化につなげていくこととしています。

また、7月から、東京、名古屋、大阪、福岡などの岩手県事務所やアンテナショップなどにおいて、三陸沿岸の飲食店、観光施設、宿泊施設などをお得に利用できる「いわて復興支援感謝パスポート」の配布を始める予定です。ぜひ、経済同友会の皆さまをはじめ、本誌をご覧の皆さまにご活用いただき、岩手の復興の姿に触れ、歴史文化、豊かな自然・絶景、おいしい食など岩手の魅力をより広く、より深く楽しんでいただきたく思います。

「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」を基本目標とする「いわて県民計画(2019~2028)」に沿って、新型コロナウイルスへの対応を万全に行いながら、さらなる段階の復興を進めてまいりますので、皆さまからのこれまでと変わらぬご支援をよろしく願いいたします。

\*gantry crane レール上を移動可能な構造を持つ門型(橋脚型)の大型クレーンのこと



奇跡の一本松

岩手県の被害状況  
(2021年5月現在)

- ▶死者数 5,145人  
(余震、関連死を含む)
- ▶行方不明者数 1,111人
- ▶家屋倒壊数 26,079棟

国の名勝に指定された白砂青松の高田松原は、被災前には、約7万本の松林が広がっていましたが、震災により、復興のシンボル「奇跡の一本松」を残して松林が流失。現在は、高田松原津波復興祈念公園などが整備されています。

「出典:いわて震災津波アーカイブ」

## 復興のシンボル「三陸鉄道」リアス線

壊滅的な被害を受けた三陸鉄道は、2019年3月に、大船渡市から久慈市までの南北163キロが一つのレールでつながり、日本最長の第三セクター鉄道「リアス線」として生まれ変わりました。

三陸鉄道では、こたつ列車やお座敷列車、震災学習列車など、季節やシーンに合わせたイベント列車を運行しています。さまざま企画される面白い列車に乗ってみませんか。詳細は、三陸鉄道ホームページをご覧ください。



三陸鉄道  
ホームページ



## 東日本大震災津波伝承館（愛称:「いわてTSUNAMIメモリアル」）

2019年9月22日、「東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル）」が、陸前高田市の「高田松原津波復興祈念公園」内に開館しました。

館内には、解説員が常駐して国内外から来館した方々の見学をサポートし、解説パネルや、津波で被災した車両などの実物資料、被災者の証言など約150点を展示するほか、ガイダンスシアター、津波の実写映像、関係者のインタビュー映像を上映するコーナーがあります。2021年5月時点で約35万人が来館し、防災学習や追悼・鎮魂の場として多くの方々にご利用されています。



被災した消防車両

伝承館  
ホームページ



## 「いわて復興支援感謝パスポート」

震災10年を迎え、全国の皆さまからいただきました復興支援への感謝の気持ちを伝えるとともに、沿岸13市町村の飲食店、観光施設、宿泊施設などを紹介する冊子、「いわて復興支援感謝パスポート」を配布します。

冊子に掲載された店舗からは、全国の皆さまへの感謝メッセージをお伝えするとともに、お得な特典サービスが提供されます。



表紙等はイメージです



## いわての新グルメ「瓶ドン」

宮古の旬な食材をたっぷり牛乳瓶に入れてご提供。その場でご飯にかけてどんぶりを作る体験型ご当地グルメです。通販サイトでもお取り寄せできます。



## 三陸ジオパーク

青森県八戸市から岩手県の沿岸を縦断して宮城県気仙沼市までをエリアとする大地の公園「三陸ジオパーク」。見どころとなるジオサイトでは、山や海、美しい景観はもちろん、震災遺構に触れることもできます。

